

チャンスをつかむ秘訣は、「だからこそ」

2014年8月22日～24日 兵庫県のグリーンアリーナ神戸で開催された「第22回全国中学生空手道選手権大会」で、今年初めてドリカムキャンプに参加された、静岡理科大学静岡北中学校が女子団体組手で、見事優勝しました。おめでとうございます！

8月12日の‘ドリカムキャンプ2014 夏の陣～出会いのチカラ～’（ゲスト講師：京谷和幸氏）への参加は、全国大会を直後に控えているにも関わらず、練習時間を割いて参加してくださいました。顧問の川崎紘輝先生と、副キャプテンの谷津倉吏音選手にお話しをお聞きしました。

◆副キャプテン 谷津倉 吏音選手

Q:ドリカムキャンプで京谷和幸さんの話の中で一番心に響いたことはなんですか？

A:京谷さんは大好きなサッカーが出来なくなってもそこで挫けずに、また次に挑戦しようとするプラス思考に感動しました。

Q:ドリカムキャンプではコーディネート役の臼井先生が、「いくら感動しても何も変えなければ結果も何も変わらない！」という話をされましたが、全国大会に向けて、何を変えようと思いましたか？

A:試合前にドリカムキャンプに参加して（聞いた話を参考に）、練習中でもお互いの長所を見つけるようにして、練習以外でも仲間といるときには、マイナスになるような言動はやめるよう心がけました。

Q:今回、全国大会で優勝されましたが、ドリカムキャンプに参加したことで、役に立ったことを教えてください。

A:試合の直前に目をつぶり（ドリカムキャンプのワークでやった）自分の最高のイメージをすることによって気持ちが楽になり、思い切り戦うことが出来ました。



3年 谷津倉 吏音

◆顧問 川崎 紘輝先生

Q:今回「ドリカムキャンプ2014 夏の陣～出会いのチカラ～」に参加された理由はなんですか？

A:生徒の父親が、株式会社サンリの臼井博文トレーナーがメイン講師をしている「ドリカムキャンプ」があるという話をして下さり、試合前だったこともあって参加することに決めました。

Q:参加された後、生徒さんの様子はどの様になりましたか？

A:練習前に自分達で考えたオリジナルの円陣をしてから練習に入るようになりました。 そのことにより、自然と笑顔になり楽しんで練習出来るようになりました。 そして、人の目を見て話す、声を張って話すなど、部活以外の行動にも変化が見られました。

Q:ドリカムキャンプは、今回の試合にどの様に役にたちましたか？

A:緊張やプレッシャーに押しつぶされるのではなく、逆に楽しむことが出来たと思います。 そしてどんな逆境でも自分自身でプラスに変えることが出来たと思います。 本当に感謝しています。ありがとうございました。

顧問 川崎 紘輝



全国大会まで後 10 日という貴重なお時間。本来なここまで来ると新しいことを取り入れるより、これまで取り組んできたことの精度を高めていこうと考える時期だったと思いますが、「だからこそ」新しいことを取り入れてみる姿勢。

この「だからこそ」は、ドリカムキャンプの中でもキーワードとして臼井先生がお話されますが、参加する前からそれができているということ、本当に素晴らしいチームです。

ますますのご活躍を期待し、心よりお祈り申し上げます！！

